

自分たちのまちにマイパブリックをつくろう！

団体名 ●ろ〜かるらぼ / 代表者名 ●高熊珠玖(経済学部経営学科 2年)

はじめに

ろ〜かるらぼは、パーソナル屋台というコミュニケーションツールを利用しながら、多様な人々(地域の方や観光客)が気軽に集い、自然体でいられるような場や情報交換ができる場づくりを実践することで、地域の賑わい創出に取り組むことを目的としています。昨年度の課題である「情報発信」は、Instagramをうまく活用していくことを目標に掲げました。また、新規メンバーの勧誘も積極的に行っていくことを目標に掲げました。

活動内容

(1) クリーングリーン実施 in 野々市市(1月15日)

野々市市役所周辺のごみ拾い活動「クリーングリーン」を実施しました。クリーングリーンでは、私たちの本来の目的である情報交換ができる場づくりの実施はコロナ禍で難しいため、メンバーで試行錯誤を重ね“コロナ感染予防対策ポスター”をつくり配布しました。そうすることで、少しではありますが、地域の方とコミュニケーションをとることができました。大学生から年配の方まで幅広い年齢層の方にポスターを配ったことでコロナ禍での活動が制限される中でも“ろ〜かるらぼ”らしい活動ができた実感しています。



写真1 野々市市役所でのクリーングリーン(1月15日)

(2) 流星祭屋台

昨年度作成したモバイル屋台を設置し初めての試みである流星祭屋台を出店しました。普段から週に1回のミーティングを行っていることで、ろ〜かるらぼのチーム力は“抜群!”豚汁は大好評で流星祭の盛り上げに貢献しました。



写真2 流星祭

(3) マッチングハブ

地域プロジェクト3~4団体と共同で、他大学や地域の企業の方々に団体そのものをアピールしました。ここでは、県内外の大学関係者や大学を取り上げる雑誌記者の方々がブースを訪れアピールの場となりました。

成果、結果の考察

今年度は、活動範囲・活動内容とも規制が多い中何をすべきか検討しできる範囲内で企画し実際に活動ができて良かったです。また、今年度の目標である、情報発信はまだまだ改善の余地がある結果になりました。新規メンバーの勧誘は積極的に行ったもののメンバー定着とはなりませんでした。

今後の課題、展望

今後の課題の1つ目はZOOM、Instagram等のSNSをうまく利用していく点です。例えば、ZOOMを利用し学生や一般の方向けに地域のゲストスピーカーをお招きし話を聞くセミナー等を行い、地域の魅力が地域から都市部へ伝われば良いと考えています。2つ目は、新規メンバー募集活動を積極的に行う点です。